

## 2021年 プロジェクト・GA 演習プログラム

### Technology, the Body and Politics in Contemporary Arts and Culture

今年の火曜日午後の音環学部プロジェクト、音楽文化学芸術環境創造博士課程、GAの修士・博士の演習（アートプロデュース演習、特別演習、博士演習）は、学部、修士、博士、研究生の合同で火曜日午後全部を使って行います。

特に昨年度、リモートの授業で学生同士が会う機会が喪失してしまったので、ソーシャル・ディスタンス、換気、マスク着用、消毒など最大の対策を立てながら、対面で授業をすることを通じて、教員と学生だけではなく、学生同士、あるいはゲスト講師や助手・助教を含めた有機的なネットワークをつくることを目指します。

最大の目的は、現代文化、音楽や芸術の最先端の問題について、実践的に活動をしている人のお話を聞き、フィールドワークやディスカッションを通じて理解をすることです。

特に今年度は、現代文化、アート、そして音楽の領域で、(デジタル)テクノロジーと身体、そして政治などに焦点を絞って、私にとって最も刺激的な活動をしている人を集めたプログラムを組んでみました。

前期の一つの核となる行事として、GA大学院授業のゲスト講師で呼んでいるクレア・ビショップのオンライン講義（6月4日（金）5日（土）、いずれも朝9時-11時）があります。ビショップは『人口地獄』や『ラディカル・ミュゼオロジー』などの著作を通じて芸術における社会的転回をリードしてきた理論家です。学部生もぜひ参加して、現在どのような理論が行われているのかを学んでほしいと思います。

[https://monoskop.org/images/5/5c/Bishop\\_Claire\\_Radical\\_Museology.pdf](https://monoskop.org/images/5/5c/Bishop_Claire_Radical_Museology.pdf)

日本語版は学割（2割引き）で購入できます。

担当：毛利嘉孝 GA 助手：古橋果林、山崎朋、岡千穂（主として配信）音環：松尾

TA: Angela Longo, 有江和美

	日時	テーマ	
1	4月6日	オリエンテーション 千住第3講義室 13:00 学部生 14:00 大学院生 MA/PhD /Research Students 終わり次第上野に移動 Welcome, Stranger, to This Place 陳列館鑑賞	

2	4月13日	東京都現代美術館見学（引率 助手・TA） 13:00 全員入口集合	
3	4月20日	読書会 千住第3講義室 美術館の現在「ラディカル・ミュージオロジー」 クレア・ビショップ Radical Museology Claire Bishop	英文テキストは PDFあり
4	4月27日	デジタルテクノロジーと音楽 ライブ・コーディングとモジュラー・シンセサイザー 岡千穂（GA 助手） + 野本直輝	
5	5月11日	自己紹介／面談 week 1 個人面談（毛利）、 学生同志による研究発表会（助手+TA）	
6	5月18日	自己紹介／面談 week2 個人面談（毛利）、 学生同志による研究発表会（助手+TA）	
7	5月25日	水族館劇場見学 19時- 〒205-0021 東京都羽村市川崎2丁目8-20 JR 羽村駅西口 徒歩12分 その前にフィールドワーク	
8	6月1日	16:30-18:00 アートにおけるジェンダー・セクシュアリティ： EGSAの調査から 竹田恵子（東京女子大学）	
9	6月4日 6月5日	Information Overload Interventions Claire Bishop (Art Critic, Professor CUNY) 9:00-11:00	
10	6月8日	15:30-17:30 テクノロジー、メディア、自然： エコゾフィーをめぐって 四方幸子（キュレーター）	
11	6月15日	時間未定 音楽と政治、あるいは Black Lives Matter と音楽	

		野田努 (ele-king 編集長)	
12	6月22日	時間未定 音楽と民俗学、環境：秩父前衛派 笹久保伸 (ギタリスト、アーティスト)	
13	6月29日	オリンピックと都市 東京のフィールドワーク	
14	7月6日	総括	
15			